

令和7年度 群馬県立歴史博物館
秋の特別収蔵品展

庶民目線で見る江戸時代

上 近州 世

新井山
六郎 伊手玉川 (部分)
(当館蔵)

国指定重要文化財附 本社幣殿拝殿妻之図 (部分) (桐生天満宮蔵 / 当館寄託)

子どものための
特集展示



2025 10.4 (土) — 11.24 (月)

開館時間：9時30分～17時00分(入館は16時30分まで)

休館日：毎週月曜日(ただし、10月13日・11月3日・11月24日は開館)、
10月14日(火)及び11月4日(火)

観覧料：一般600円(480円)、大高生300円(240円)、中学生以下無料

*()内は、20名以上の団体割引料金 *障害者手帳持参者とその介護者1名は無料

群馬県立歴史博物館
Gunma Prefectural Museum of History

〒370-1293 群馬県高崎市綿貫町992-1
アイ・ディー・エー群馬の森公園内
TEL. 027-346-5522 FAX. 027-346-5534



ホームページ

Facebook

X



模写人形シラ（当館蔵）

江戸時代後半の群馬で暮らしていた人々は、何を見て、何を思っていたのか。それぞれの立場でその時代を生き抜いた人々が残したものゝ群馬県立歴史博物館が保管する歴史・民俗資料の一部をご覧に入りたいと思います。

庶民目線で見る江戸時代

上野の近世

令和7年度 群馬県立歴史博物館
秋の特別収蔵品展



歌舞伎衣装（部分）（当館蔵）

展示構成

- 第1章 村へ
- 第2章 はなやかなる地方
- 第3章 農村の文化人たち
- 第4章 はなやかさの裏で～荒廃する社会～
- 第5章 政治・社会への批判～変革の予感～



上州銘銭
吉市・堀吉（当館蔵）

落語家 桂歌助独演会

演目：『塩原多助一代記』
 日時：令和7年10月12日（日）14:00～15:00
 会場：視聴覚室（定員140名）
 申込：1か月前よりWebまたは電話による事前申し込み
 参加には会期中の観覧券が必要です
 （当日観覧券に限らず使用できます）
 未就学児不可

ギャラリートーク

当館学芸員による展示解説

日時：10月12日（日）15:00～15:30
 11月 2日（日）14:30～15:00
 11月23日（日）14:30～15:00

会場：企画展示室
 申込：不要 ※当日観覧券が必要です



上野国群馬郡前橋利根川（上野国群馬郡前橋利根川）（当館蔵）



大旅籠三保本家 錦絵（個人蔵／当館寄託）

背景：上州山田郡只上村絵図（部分）（当館蔵）

子どものための
特集展示



昭和元年から数えて、今年はちょうど「昭和100年」。
 令和の便利な世の中になり、昭和は遙か昔のことのように感じられませんか？その昭和のくらしで使われていた生活道具を展示しています。あわせて当時の生活の場を一部再現し、体験できるようになっています。人々の生活がどのように変わってきたのかを見たり触ったりすることで、懐かしさや驚き、新たな発見があるかもしれません。そんな昭和のくらしを感じに来てください。

主な展示内容

- 昭和の頃に使っていた生活道具
- 蚊帳の間・昭和30年代の茶の間・昭和50年代の応接間の再現
- 映像で昭和を感じる
「昭和30年代の日本・家族の生活」
（企画・製作 記録映画社／桜映画社／日本映画新社）



オータムワークショップ

10/4～11/24の土・日・祝日、
 展示に関連した
 簡単な工作を行います。
 （要当日観覧券、
 小学生以下保護者同伴）

● 特設コーナー

近現代展示室では「戦後80年」に関連し、戦中・戦後の群馬の様子を映像や写真で紹介しています。

交通のご案内

電車：

- 東京方面から 上越新幹線・北陸新幹線 東京～高崎（約1時間）
高崎線 上野～高崎・倉賀野（約1時間50分）

バス：

- 高崎市内循環バス「ぐるりん」
JR高崎駅東口から「岩鼻線」（約25分）、「群馬の森線」（約30～40分）
JR倉賀野駅から「岩鼻線」（約9分） ※いずれもバス停「群馬の森」下車

自動車：

- 関越自動車道
高崎玉村スマートICから（車で約10分）
高崎ICから（車で約15分）
- 北関東自動車道
前橋南ICから（車で約15分）
- 上信越自動車道
藤岡ICから（車で約10分）

群馬県立歴史博物館

Gunma Prefectural Museum of History

〒370-1293 群馬県高崎市綿貫町992-1 アイ・ディー・エー群馬の森公園内 TEL. 027-346-5522 FAX. 027-346-5534

